



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 平成 27 年 4 月 20 日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町 7 丁目 5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyoku/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

釧路短期大学で木育教室「北海道で生まれた『木育』ってなんだろう」を実施 「木育の玉手箱」と「木工作」を通じ、五感で木を感じる。

【概要】

釧路森林資源活用円卓会議と釧路短期大学（子育て支援ゼミ）は、平成 26 年度から「くしろの木で遊具を作る」の連携事業を実施していますが、その事業の一環として、釧路市が同大学の学生を対象に、木育教室「北海道で生まれた『木育（もくいく）』ってなんだろう」を実施しました。

- 日 時 平成 27 年 4 月 17 日（金） 14:30～15:30
- 場 所 釧路短期大学（北海道釧路市緑ヶ岡 1-10-42）

【実施内容】

「木育」とは、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みで、「木を子どもの頃から身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育てたいという想い」が込められた言葉。

木育教室には、学生約 30 人と講師が参加。①講義「『木育』ってなに？」、②実習「木育の玉手箱」、③木工作「木のおうちをつくろう」の 3 部構成で進められました。

やや難しい大人向けの木育教室にもかかわらず、学生さんたちは集中力を切らさず積極的に参加してくれました。特に、「木の記憶」を問う場面で、木（ここでの「木」とは、樹木と木材・木製品の 2 つ）の記憶と自分の体験を呼び起こす際の真剣さや、木の重さや香りなどを意識した後の木工作で、8 つの樹種の家から自分の 1 つを選ぶだけで 5 分以上迷ったことなど、それぞれが多様な形で木との関わり方を見せてくれたのが印象的でした。

講師：釧路市 佐藤 圭、中井咲絵
協力：北海道水産林務部森林環境局森林活用課

なお、本件は釧路短期大学（子育て支援ゼミ）のブログにも掲載されています。
<http://kosodateshien.cocolog-nifty.com/blog/2015/04/post-005a.html>



▲（上）木育の玉手箱
（下）木のおうちをつくろう

<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha（全道の市で 1 位）。まさに釧路市は「森林都市」。
「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を平成 22 年 11 月設置しました。
これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室
（担当）佐藤 圭
TEL : 0154-31-4550
FAX : 0154-22-8972